

旅行系活動報告

1. どんな目的でできたか？

「交流」をキーワードに、旅行による「にぎわい」をつくろうと考え、旅行好きなメンバーが集まって結成しました。

2. どんな活動を行ったのか？

にぎわいをつくるため、参加者同士が性別・世代を越えて交流し、仲間の輪を広げるため、又、住み馴れた町を離れ、外から町を見つめ・考える機会として、その他の系の協力のもと、以下の2点を企画・運営しました。

①未来号～北海道編～



②未来号パート2～秋田編～



3. 各活動の内容と成果・課題について

①未来号～北海道編～

日時：平成21年7月18日～平成21年7月20日(2泊3日)

場所：北海道

活動内容

- 1日目—飯豊町役場をバスで出発
↓
新潟港よりフェリーで出発
↓
船内にて、飯豊町クイズ等の
レクレーションやグループ毎の
ワークショップ



- 2日目—小樽港に到着
↓
バスで美瑛へ行き、
「赤麦を守る会」から町おこしについてお話を伺い、
赤麦畑を見学
↓
富良野ラベンダー畑の見学
↓
小樽の街並みを視察
↓
小樽港より帰路



- 3日目—船内にて
ワークショップ及び発表会
↓
新潟港到着
↓
飯豊町役場解散



成果と課題

成 果

- ・ 一番の目的であった、参加者同士の交流ができたこと。又、それが今もなお続いていること。
- ・ ワークショップであがったみなさんからの貴重な意見をもとに、委員会で「町に要望すること」「自分たちでできること」を考え、方向性を出せたこと。又、それを実施出来たこと。



課題・今後の対策

- ・ 参加者の偏り(年齢・性別)があったこと→対象年齢の引き上げ
- ・ 日程が長いという意見があり、それが理由で参加できない人がいたこと。→日程の短縮
- ・ 船酔い者が続出したこと→交通手段変更の検討をすること。



②未来号パート2～秋田編～

日時：平成22年7月31日～平成22年8月1日(1泊2日)

場所：秋田県

活動内容

1日目ー役場からバスで出発



車内にて、飯豊町クイズ等のレクリエーション



角館にて、武家屋敷見学



仙北市にして、秋田県南NPOセンター「若者会議」の視察及びワークショップへの参加



秋田温泉にて、交流会及び宿泊



2日目ー秋田港より帰路



船内にて、ワークショップ及び発表会



新潟港到着



飯豊町役場解散



成果と課題

成果

- 前回の課題であった年齢の偏りを少なくするため、参加対象年齢をあげたことで、幅広い年齢層になり、ワークショップも様々な意見が飛びかい、盛り上がったこと。又、世代を越えた交流の輪が広がったこと。
- 交通手段を工夫したことで、船酔い者も減り、ますます活発な話し合いができたこと。
- 日数を短縮したことで、気軽に参加できる人が増えたこと。
- 秋田の活動団体とのワークショップを通し、同じような問題点や要望を抱えているということ、又、その問題解決に向けて活発に活動を行っていることを知り、参加者の町の「にぎわいづくり」のモチベーションがあがったこと。
- 2年連続の参加者がいたということで、町づくりに関心を持つ人が少しずつ増えているということを感じれたこと。又、この活動の継続の大切さがわかったこと。

課題・今後の対策

- 参加者の性別の偏り(女性参加者が少ない)。
→女性が参加しやすい・興味を持つような企画を考える。

